

平成 27 年 9 月 25 日

## グループ 3 の検討方針と進捗について

グループ 3 の検討方針と進捗について下記の通り報告いたします。

## 1 . Group3 打合せと内容

- 第一回 打合せ 日時 平成 27 年 7 月 31 日(金) 13:00-15:00  
 宇堃委員を主査とし活動することを確認  
 課題調査票の取纏め者の決定  
 課題項目の確認のため専門分野の確認と担当者の決定
- 第二回 打合せ 平成 27 年 10 月 13 日(火) 10:00-12:00 (予定)  
 燃料 RM 検討WG のコメントを反映、確認  
 8 月末までのコメント反映版の提示予定  
 Group3 での実施状況の説明予定。

## 2 . 参加者名簿

	氏名	所属	備考
3主査	宇堃 正美	福井大学	学識経験者
1,3	天谷 政樹	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	研究機関
2,3	尾形 孝成	(一財)電力中央研究所	
3	河村 浩孝	(一財)電力中央研究所	
3	高松 樹	日本原子力発電(株)	電気事業者
3	久宗 健志	日本原子力発電(株)	
3	近藤 貴夫	日立GEニュークリア・エナジー(株)	原子炉メーカー
1,2,3	福田 龍	三菱重工業(株)	
2,3	岡崎 亘	エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ(株)	
3幹事	青木 繁明	三菱原子燃料(株)	燃料メーカー

## 3 . 第一回打合せ決定事項

## ・ 今後の作業方針

課題調査票の取り纏め者が決定された。

- 炉心・熱水力設計評価技術の高度化 [青木委員]  
 プラント運用技術、炉心設計管理の高度化 [高松委員]  
 運転性能の高度化（事象進展抑制、停止機能、負荷追従、等） [近藤委員]

取り纏め者は、次のことを行う。

- ・ 課題調査票へのコメントの纏め
- ・ 課題調査票の「具体的な項目」の見直し・修正

課題項目の確認のため専門分野の確認と担当者(コメンテーター)を割り当てた。

分野	担当者(コメンテーター)
核設計	青木、近藤
実験・測定	青木
熱水力設計	電中研
崩壊熱	電中研
核データ	青木
燃料サイクル	岡崎
燃料設計	宇埜、天谷
高信頼性燃料	
プラント運用技術	近藤、福田
炉心監視機能の向上	
耐震評価	青木

コメンテーターは、次のことを行う。

- ・ 課題調査票への担当分野に関するコメントと取り纏め者への連絡  
コメントする際の注意点  
課題調査票の全体の位置づけを見てコメントする。
- ・ 担当分野の関係者から意見を集め担当部分の目的と道筋につきコメントする。  
なお、担当部分のコメントが分野外であったりした場合は、  
上位のWGで適切なコメンテーターを手配する。

#### 4．現時点での課題点

##### 炉心・熱水力設計評価技術の高度化

- ・ 下記の項目は、Group1で実施されることから、結果を引用する形にしてはどうか。  
DB-11 高度化燃料の材料開発/照射挙動評価  
DB-12 高度化 MOX 燃料仕様燃料の開発
- ・ 「燃焼度クレジットによる未臨界管理」の内容について見直し確認の必要有り。
- ・ 「燃料サイクル施設における仮想臨界事故解析手法の高度化」の取扱について確認

以上